

6月議会 議案の中から .....

① 議案第1号  
鎌ケ谷市空き家等適正管理貸付条例の制定について

鎌ケ谷市空き家等の適正管理に関する条例の施行に伴い、空き家等の所有者に対する支援として、管理不全な空き家を除却しようとする所有者等に対し、資金の貸付制度が創設。

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 貸付金額 | 指導等又は勧告に係る措置に要する費用の75%に相当する額 |
| 貸付額  | 100万円を限度とする                  |
| 返済期間 | 60月を限度とする                    |

空き家等の管理について本来所有者が行うべきものであり、除却費用が賄えないことを理由に空き家等がさらに放置されることを防止するための制度です。貸付には連帯保証人の設定等がありますので、制度の詳細については安全対策課までお問い合わせください。

② 議案第3号  
平成25年度鎌ケ谷市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ24億9664万円を減額した補正予算が可決。

●主な予算の使い道

- 市立保育園の管理運営に要する経費 (鎌ケ谷市の負担) 約2990万円  
臨時職員を段階的に確保するため、必要な賃金を追加するもの
- 道路維持・補修事業 5660万円
- 財源内訳 国庫支出金 約2111万円  
鎌ケ谷市の負担 約3549万円
- 市道14号線 軽井沢(さわやかプラザ付近)
- 市道18号線 東初富4丁目(稲荷西交差点から丸山交差点)
- 市道26号線 中沢(船橋市藤原8丁目付近)

③ 江戸川左岸流域の公共下水道事業が進展

本年3月29日に下水道法の協議を終え、4月16日に都市計画法の事業認可を取得した。区域は鎌ケ谷市の南部の道野辺、東道野辺、西道野辺、馬込沢地区。また、この45ヘクタールのうち、下流側である西道野辺にある鎌ケ谷グリーンハイツ区域の工事に着手する予定。供用開始は下流の千葉県流域幹線の整備に合わせて平成27年度の予定。受益者負担金単価については今年度決定する予定。(45ヘクタール分)

|            |          |
|------------|----------|
| 全体計画面積     | 495ヘクタール |
| 全体計画処理人口   | 26,800人  |
| 事業認可面積     | 45ヘクタール  |
| 事業認可区域計画人口 | 6,450人   |
| 事業認可区域事業費  | 約88億円    |



★松沢の視点

鎌ケ谷市の公共下水道は印旛処理区と手賀沼処理区と江戸川左岸処理区に区分けされており、昭和57年から、それぞれ作業を進めてきている。平成24年度末の下水道普及率は57%、鎌ケ谷市の下水道普及率が低い理由として3つのうちの江戸川左岸処理区が着手されていないことが挙げられ、公共下水道普及拡大の第一歩と考えられる。

④ 9月議会に向けて

上程される予定の議案は合計27議案であり、主な議案として、多文化共生推進センターや市民活動推進センター、男女参画推進センター、きらり鎌ケ谷市民会館、きらりホールの設置及び管理条例の制定等、きらり鎌ケ谷市民会館に関連した議案がある。また、議案第13号における一般会計補正予算では歳入歳出それぞれ約24億5969万円を追加した補正予算案が示され、主な歳出では井戸付耐震性貯水槽整備に伴う設計経費約2250万円 家庭的保育事業約1582万円 公立保育園定員増に向けた増改修約5882万円 道路維持・補修事業約6275万円 地域排水整備事業5000万円 雨水貯留池整備事業4116万円 小学校空調設備設置に伴う設計委託約1276万円 第二中学校借地用地の購入2億48万円

きらり鎌ケ谷市民会館整備に伴う施設用備品の購入等1150万円 きらりホール整備に伴う舞台用道具の購入等1965万円 (仮称)弓道・アーチェリー場建設事業約8510万円などが示された。9月議会では決算審査特別委員会が開かれる予定です。何のために事務事業を、いくらかけて実施したのか。また、その事務事業は有効だったか、効率的であったか。施策の成果はどれくらいあがったか。手段として他の方法はないか。見直しの方向性をどう考えていくか等、様々な視点で事務事業の審査を行います。翌年度の予算編成に反映させることができる重要な役割の決算審査特別委員会です。是非、傍聴してみたいかがでしょうか。

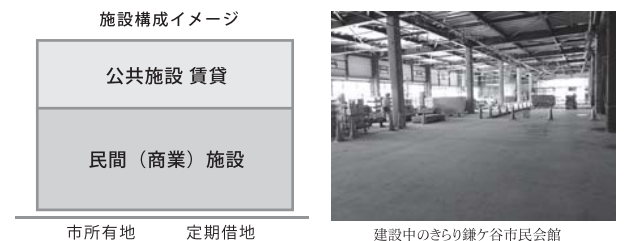
若手市議会議員の会 研修会に参加

「松戸駅前アートを核としたまちづくり」松戸市 7月28日  
営利を追求する企業が持つノウハウや人材等、行政とは異なる視点での街づくりが可能である。行政と企業とのかわりは大変難しい面もあるが、今後は行政と住民、民間企業との関わり方を発展させる必要がある。



関東若手市議会議員の会 千葉ブロック会長に選出。  
7月28日に松戸市で開催された研修会・総会にて、2013-2014年度の千葉ブロック会長に選出されました。県内に多くいる若い市議会議員同士、地域の課題を解決すべく、連携をとりながら、さらなる活動をしてまいります。

「官民連携について(公共施設と商業施設の合築)」  
埼玉県深谷市 8月10日  
埼玉県深谷市は平成20年7月に商業施設と公共施設の合築の計画を公表し、平成21年9月に商業施設、12月に公共施設が開業している。商業施設はイトーヨーカドーグループであり、施設の3階を公共施設にする等、本市の文化ホール事業と共通点が多くある。複合施設ならではの利便性のある行政サービスはもちろん、窓口業務の煩雑さ等の課題に対して、対策を講ずる必要がある。



松沢たけひと プロフィール

- 昭和50年 鎌ケ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 市立鎌ケ谷中部小学校卒業
- 平成2年 市立鎌ケ谷第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成10年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人 設立 代表取締役 節句人形師として、日本古来の伝統を守り続ける
- 平成19年 鎌ケ谷市議会議員 初当選
- 平成23年 鎌ケ谷市議会議員 再選

私、松沢たけひとは38歳と会派政友会の中では最年少ではありますが、鎌ケ谷市議会議員の一人として、市民の皆様に信頼され、そして、期待に応えられるよう行動してまいります。

## 道路行政について

公会計では、道路も資産と位置づけられており、現在の道路資産について、将来にわたって維持していくためには、道路維持に係るコストについて考えていかなければなりません。

**Q** 今後は予防保全や計画的な道路修繕が必要だと考えるが、舗装における長寿命化対策や、修繕計画の策定については、どのように考えているのか。

**A** 道路の舗装劣化による市道修繕の費用は膨大なものになるものと想定され、効率的で経済的な予防保全型の維持管理へ移行する必要があるため、修繕等の計画は限られた道路修繕予算を平準化して、トータルコストを縮減させる舗装寿命の延伸や道路資産の適切な管理を進めていくことが重要であると認識している。

**Q** 東中沢2丁目の市道 3308 号線、初富本町1丁目の市道 1513 号線の舗装状況に伺う。

**A** 2路線は、一般市道で路面のひび割れ率などの路面性状調査は行われてないが、市職員が路面の状況を確認した。市道 3308 号線については、舗装の傷みぐあいなど、他の路線と比較検討しながら、補修方法について検討してまいりたいと考えている。また、初富本町の市道 1513 号線については、舗装の劣化が著しく、また交通量が多いことから、今年度舗装の打ちかえによる大規模修繕を予定。



## 交差点の交通安全について

中央1丁目交差点と鎌ケ谷小学校入り口までの安全対策について

新鎌ケ谷、初富本町は住宅開発が著しい地区であり、人口増加とともに児童数も増加しています。児童生徒の安全、そして車を利用する方の安全という観点からも、この中央1丁目交差点の安全対策について考えていかななくてはなりません。

**Q** 交差点の改良の必要性について伺う。

**A** 中央1丁目交差点での歩行者の安全確保や車両の円滑な流れを含めた安全性向上のためには、交差点全体を制御する信号機の設置を含めた交差点の改良が必要であると認識している。

**Q** 市道 2334 号線をスクールゾーンにはできないのか？

**A** 市道 2334 号線は鎌ケ谷小学校入り口付近のスクールゾーンの迂回路となっており、スクールゾーンとするためには、新たな迂回路を確保しなければならないが、市の取り組みとして今後警察と協議をしたい。



### まとめ

鎌ケ谷市内には舗装の必要性がある道路が今回は取り上げた2件だけでなく、多く存在する。予防保全型の維持管理が理想ではあるが、優先順位決め、長期的な視点に立って計画性のある道路維持管理が必要と考える。

### まとめ

鎌ケ谷小学校に通う子供たちの安全を第一に考え、交差点だけでなく、鎌ケ谷小学校の入り口付近までの道路について、一体的に対策に取り組む必要がある。

## 鎌ケ谷市の人口動向と今後の政策展開について

日本国においては、人口減少が進んでいます。鎌ケ谷市の住民基本台帳人口は、平成 24 年8月時点で 10 万 9,942 人。推計によると平成 27 年までは増加すると言われており、その背景には交通網が整っていることや、近隣市と比較しても地価が安価であるといった地理的な優位性があります。この優位性を生かしながら、今後の鎌ケ谷市の特性を生かしたまちづくりを推進していく必要があります。

**Q** 鎌ケ谷市の年齢区分別人口動態について

|        | 年少人口  | 生産年齢人口 | 老年人口  |
|--------|-------|--------|-------|
| 2010 年 | 13.2% | 64.7%  | 22.1% |
| 2020 年 | 12.1% | 59.1%  | 28.8% |
| 2030 年 | 10.7% | 59.6%  | 29.7% |
| 2040 年 | 10.5% | 55.0%  | 34.6% |

国立社会保障・人口問題研究所推計値

※年少人口 0 歳から 14 歳  
 ※生産年齢人口 15 歳から 64 歳  
 ※老年人口 65 歳以降

**Q** 人口減少、少子高齢化への対応について

**A** 若い世代を中心に鎌ケ谷市に住んでいただけるような方策をとるとともに、地域で生活する高齢者を中心とした皆さんが健康で生きがいを持って暮らせるような方策をとっていくことが必要である。また、少子高齢化の進展による影響が見込まれる財政状況を踏まえ、引き続き行財政改革に取り組むことにより、持続可能な行財政運営に努めたい。

**Q** 定住人口、そして交流人口の増加に向けた具体的な取り組みについて

**A** 近い将来、首都圏に大きな地震が来る可能性も指摘される中、地震、災害対策は居住する場所を選択する大きな要因になっていると考え、人口増加策といった観点からも地震、災害に強いまちづくりを進めている。また、子育て世代を中心とした若い世代が将来にわたって鎌ケ谷市に住んでもらえるよう、次世代も含めた人口増加策といった観点から安心して子育てできるまちづくりを進めている。さらにシティープロモーションや地域活性化、都市基盤整備といった魅力づくりによる取り組みをしている。

**Q** 子育て世代の流入のための具体的な取り組みについて

**A** 後期基本計画では、平成 27 年度までに待機児童をゼロにするという目標を掲げ、公立保育園の受け入れ枠の拡大や民間保育所の誘致や建てかえ、家庭的保育事業を実施。また、地域での子育てを支援すべく、子育て支援センターやつどいの広場の設置を進めるとともに、乳幼児を対象とする定期予防接種を無料実施するなどの助成制度にも取り組んでいる。

**まとめ** . . . . .

鎌ケ谷市が居住地として選ばれる街になるには、道路や下水道といったハード面の整備のみならず、他市にて展開している定住促進支援制度等のソフト面を含めた住環境の整備を行う必要がある。

**編集後記** . . . . .

アメリカにあるデトロイト市が財政破たんしました。ピーク時、約180万人いた人口は半分以下の約70万人となり、人口減少や産業の空洞化によって税収が減少するなかで、行政運営していかなければならず、歳出削減、つまり行政サービスの削減をしなければ、市の財政はますます悪化する一方であります。日米で制度の違いもありますが、日本国も人口減少や産業のグローバル化による空洞化等、課題は共通しています。鎌ケ谷市の財政状況が落ち着いたとはいえ、将来にわたって鎌ケ谷市の財政を安定させるためには、人口流入の促進をし、バランスのとれた年齢人口構成にすることが求められます。

**ご意見**

市政に関するご意見等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。また、お友達との井戸端会議、勉強会等、2~3人でも出張市政報告に伺います。

TEL 047-445-5260 FAX 047-443-5551 E-MAIL kamagaya@t-matsuzawa.net